

六日 磐城時報

編輯部 磐城時報編輯部
印刷部 磐城時報印刷部
發行部 磐城時報發行部
電話 磐城時報電話
地址 磐城時報地址

豫算決算共に 委員會案通過

九年度平町豫算決定す

平町豫算町會は昨報の如く五日臨席した。

午後一時開會、萩原豫算委員長から學校費中の學級増加、役場費中の町長報酬減額並に歳入戸數割平均額十七圓六十錢を十七圓三十錢に引下ぐる委員會の修正案を報告説明した結果、二、三の質問あつたが修正案に決定學級増加の原案は現状維持と決定、次いで吉田(五)決算委員長から七年度の決算審査経過を報告委員會の希望條件を附したが此れまた委員會の決定通り承認した。

巨救事業 郡内の總額 約四十萬圓

平土木監督所では目下九年度に施行される郡内町村の土木巨救事業計畫の申請を取り纏め申請して来たものは平町の來年度事業たる長橋一五町目間の國道備裝工事、その他七万七千七百圓を筆頭合計二十ヶ町村總額四十餘萬圓に達して居る。尙同所では各町村方面委員の聯合協議會は萬圓に達して居る。尙同所では今六日午前十時から平町會議室今明中日に申請を取り纏め縣に於いて開催縣社會課照沼主事認可の手續を執る筈である。

聯合女子青年總會 非常時打開の宣言決議

稀れに見る盛會

(既報)郡下女子青年聯合幹部會は今日午前十時から平町第二小學校講堂に於いて開催、津田團長の開辭に次いで今年度聯合事業その他を協議満場一致で次の如き宣言を決議した。

我國現下の情勢は内外共に非常の難局に直面して居ります。此秋に方り私共女子青年は鑒に換發せられたる詔書に御趣旨を奉體して益々修養に努め國民として亦女性としてその本分を盡し協力一致此の難局を打開し新興日本の建設に邁進致します。

進致します。 三月六日 石城郡聯合女子青年團 正午休憩午後一時再開したが福島商業學校校長近藤節太郎氏の大講演あり出席團員五百余名に達し稀れに見る盛會であつた。

地久節奉祝 今日地久節の佳日に際し縣立磐城女學校を始め在平各女子學校ではそれぞれ奉祝式を擧げた。

井上、野崎、萩原三氏 平町都計地方委員に當選

平町では豫算本會議終了後平町春吉(二八)同町魚行南村松榮吉(四八)同町無職前科一犯白鳥三郎(三五)の三名は去月十二日原義雄の三縣議滿場一致で當選中四倉署員に踏み込んで検査された。尙青沼町長は當然地方委員である爲め町長を加へた四委判所關口判事から白鳥は四十圓の手に依つて平町の大都市計案吉、春吉兩名は各十五圓宛の罰金は愈々實現への第一歩を踏み出した。

鮫川工事入札 種々の理由で遅延してゐた鮫川江の大改修工事は愈々今月中に着工する事に決定したので昨五日平町團休事務所に於いて平町江口忠一、東京有田組、富山縣加藤組の三請負人に對し指名入札を發行した。

優等生八名 縣立磐城中學校第三十四回卒業式は明日午前九時から舉行されるが、本年度卒業の優等生は高萩實、澤穂、桐谷義男、新妻衛、中津秀行、鈴木繁好、猪狩常彦、樺村一男の八名である。

賭博一味 別項平町九年度豫算は二、三名高級助役一名が新年度の修正程度を以つて大休原案通來四月から實現する譯で、果しりの決定を見たが、此の結果尙て今旭日の勢を以つて市制實現その外同運河に工費六萬圓を投擲するが、神町町橋れた。

町長の胸底深く 描かれた助役候補 新年度から實現の高級助役 果して何人か?

小名濱の都市計劃 道路網その他の設計

胡を泥送檢

鼻の薬「チクノール」

山野邊藥局

區會議員も混り 軍鶏大賭博開帳

昨日湯本町笠井地内で 一味二十名一網打盡

最近平地方に軍鶏賭博が流行し町に青沼町長のよき補助役として高級助役の椅子を占めるのは誰れか! 早くも各方面で話題の選任決定を遅延するときは前年遠藤助役死亡後の後任決定當時に於ける如き紛糾を見ないとも限らず前報を踏むことを避け必要があることとされてゐる。

小名濱の都市計劃 道路網その他の設計

石城郡小名濱町では大小名濱町神社橋の四橋を極めてモダンな建設の第一歩として既報の如く鐵骨コンクリートで架設する事小名川を改修し大運河を設くべになつてゐるが、これが完成は設計に着手大体的豫算を編成同町に一美觀をそへるばかりで中であつたが、この程終了を見なく新興港都市としての小名濱町に近づく主務省に對し工事認許に一層の拍車をかける事として全町一萬町民は運河工事の着手を少なからず待望して居る。

町長の胸底深く 描かれた助役候補 新年度から實現の高級助役 果して何人か?

別項平町九年度豫算は二、三名高級助役一名が新年度の修正程度を以つて大休原案通來四月から實現する譯で、果しりの決定を見たが、此の結果尙て今旭日の勢を以つて市制實現その外同運河に工費六萬圓を投擲するが、神町町橋れた。

賭博一味

別項平町九年度豫算は二、三名高級助役一名が新年度の修正程度を以つて大休原案通來四月から實現する譯で、果しりの決定を見たが、此の結果尙て今旭日の勢を以つて市制實現その外同運河に工費六萬圓を投擲するが、神町町橋れた。

井上、野崎、萩原三氏 平町都計地方委員に當選

平町では豫算本會議終了後平町春吉(二八)同町魚行南村松榮吉(四八)同町無職前科一犯白鳥三郎(三五)の三名は去月十二日原義雄の三縣議滿場一致で當選中四倉署員に踏み込んで検査された。尙青沼町長は當然地方委員である爲め町長を加へた四委判所關口判事から白鳥は四十圓の手に依つて平町の大都市計案吉、春吉兩名は各十五圓宛の罰金は愈々實現への第一歩を踏み出した。

豫算決算共に 委員會案通過

九年度平町豫算決定す 平町豫算町會は昨報の如く五日臨席した。午後一時開會、萩原豫算委員長から學校費中の學級増加、役場費中の町長報酬減額並に歳入戸數割平均額十七圓六十錢を十七圓三十錢に引下ぐる委員會の修正案を報告説明した結果、二、三の質問あつたが修正案に決定學級増加の原案は現状維持と決定、次いで吉田(五)決算委員長から七年度の決算審査経過を報告委員會の希望條件を附したが此れまた委員會の決定通り承認した。

聯合女子青年總會 非常時打開の宣言決議

稀れに見る盛會 (既報)郡下女子青年聯合幹部會は今日午前十時から平町第二小學校講堂に於いて開催、津田團長の開辭に次いで今年度聯合事業その他を協議満場一致で次の如き宣言を決議した。

第二十八回生徒募集

△第一學年 壹百名
△第二學年 若干名
△受験科生 若干名
出願期日 四月四日迄
新學期 四月四日

本校職員
校長 從五位勳五等

本 多 忠
平 塚 二
佐 藤 熊 太
志 田 季
猪 登 信 三
男 夫 雄 郎 網

本校の特色

1 入學金全免 2 學費の低廉 3 實業科目の特設
4 特待生の待遇 5 寄宿舎の設備

磐城青年學校

平町城山

賣り物あり

醸造用醬油、味噌、仕込桶 六尺七本
附屬器具、掛船、火入釜其他小モノ一切
賣却に應じます、御貸も致します。
御希望の御方は至急御申込ありたし。
○場所平町内 (姓名在社)

齒科

神谷齒科醫院

神谷辰夫

平町古鍛冶町九一

學校卒業賞品特賣

各學年卒業修期が近づきました。
各種賞品類も全部荷揃致しました。御仕入の絶好期。
卸賣特に御務め勉強致します。

共榮漆器店

景品賞品類
進物贈答品
恩賜賞品
記念表彰品
各産産漆器
本年尋卒 仕着 平町三丁目北裏通り
同高小卒 仕着 小使月二丁目
外交員十八九才より三十才迄

生徒募集

○非常時日本は婦人の職業
近代の日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました
婦人の職業として産婆看護婦といふ業は最も似つかはし
い天職であります。
○卒業年限僅か一ケ年
開業すれば収益も多大で家政の内助ともなり、家庭の人
となつても直接役に立つのは此の産婆看護婦の業で有り
ます。
○戦争と日本婦人としての覺悟
一日緩急あれば戦時看護婦として愛する母國への奉仕に
務めませう。
○古い傳統の歴史と縣下第一の好成绩を誇る平町一丁目の
石城産科婦看護婦學校へ御入學下さい。

石城産科婦看護婦學校

校長 鷹崎千代

時代の要求 三月十一日マデ(夜間十時迄)

東和 和洋家具百貨 大陳列大安賣會

十ヶ月拂

四倉座内

募集(本科五十名、師範科三十名、技藝高等科五十名
人員)専攻科二十名、技藝普通科五十名、専修科五十名
文部大臣認可 附設 平陽家政女學校
福島縣平町 電話四四四番

平陽女學校

入學願書提出三月三十一日迄、願書到着順に入學ヲ許ス
月謝低廉寄宿舎ノ便リ、食費一日三十錢内外デアリマス

磐城名産 干やなぎ

か鹽辛。鯉鹽辛。鯉節

鈴藏魚店

電話六六一番

塩豚

平町田町 三三三三屋 電話三三三番



製造 袋 賣販
菓子 糖砂 各種各一
平町一丁目大商金店裏
鈴木製袋所
川岸水湖洋洗濯店裏

生徒募集

◎本科 一年 ◎裁縫専修科 一年
◎専攻科 ◎師範科
◎本科 二年 ◎裁縫専修科 二年編入
文部大臣認可 藤田女學校
認 三月末日限り
◎願書受附 本校宛問合セノコト
◎詳細ハ 福島縣平町田町 電話三三八
◎位 置

産婆看護婦生徒募集

平南町

平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ子 電話三〇七番

徒弟數名至急入用

委細面談
平町二丁目(電話六三三番)

魚清食堂

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話平四一七番

新車御披露

三十四年式テラツクスセタン入車致
しました、貸切の御用の節は是非御
試乗を御願致します。

最新型セタン揃ひました。

電話六四〇番 足子タクシー